

令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：（ 社会 ） 科目：（ 現代社会 ） 対象：（第3学年 1組～7組）

教科担当者：（1組：栢田）（2組：栢田）（3組：栢田）（4組：栢田）（5組：今村）（6組：栢田）（7組：今村）

教科の 指導目標	基礎的・基本的な知識の定着をはかり、この基礎知識を土台に、日常生活や社会との関連を考えつつ、多角的・かつ論理的に考察できる学力を身につける。
-------------	--

	高校入試等の分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>大問1 地理歴史的及び公民的分野について、基礎・基本的な知識・理解及び技能をみる。</p> <p>大問2 世界の諸地域や我が国と世界の結びつきについて資料を活用して考察する能力をみる。</p> <p>大問5 現代の事象について資料を活用して、政治経済面から考察し表現する能力をみる。</p> <p>大問6 現代の諸問題について、資料を活用して、地歴公民の3分野から考察し表現する能力をみる。</p> <p>○基礎基本的な内容について、知識が定着し切れていない部分がある。</p> <p>○考察した内容を、日本語で適切に表現する力が弱い生徒が少なからずいる。</p>	<p>○基礎基本的な内容について、知識が定着しきれていない部分があるため、かならず知っておくべき基礎基本的事項についてかみくだいて、指導する。</p> <p>○考察した内容を、日本語で適切に表現する力が弱い生徒が少なからずいるため、生徒が考えて書き、表現する項目を多く設ける。</p>	<p>○基礎的な知識の定着 授業中に既出の基礎的な内容について、適度に振り返り、丁寧な解説をおこない、確実な定着をはかれるように授業準備に努める。</p> <p>○表現力の伸長 単語だけでなく、文章・会話など様々な表現をつかい、自分の考察を相手に伝える機会を設けることができるよう授業準備に努める。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			